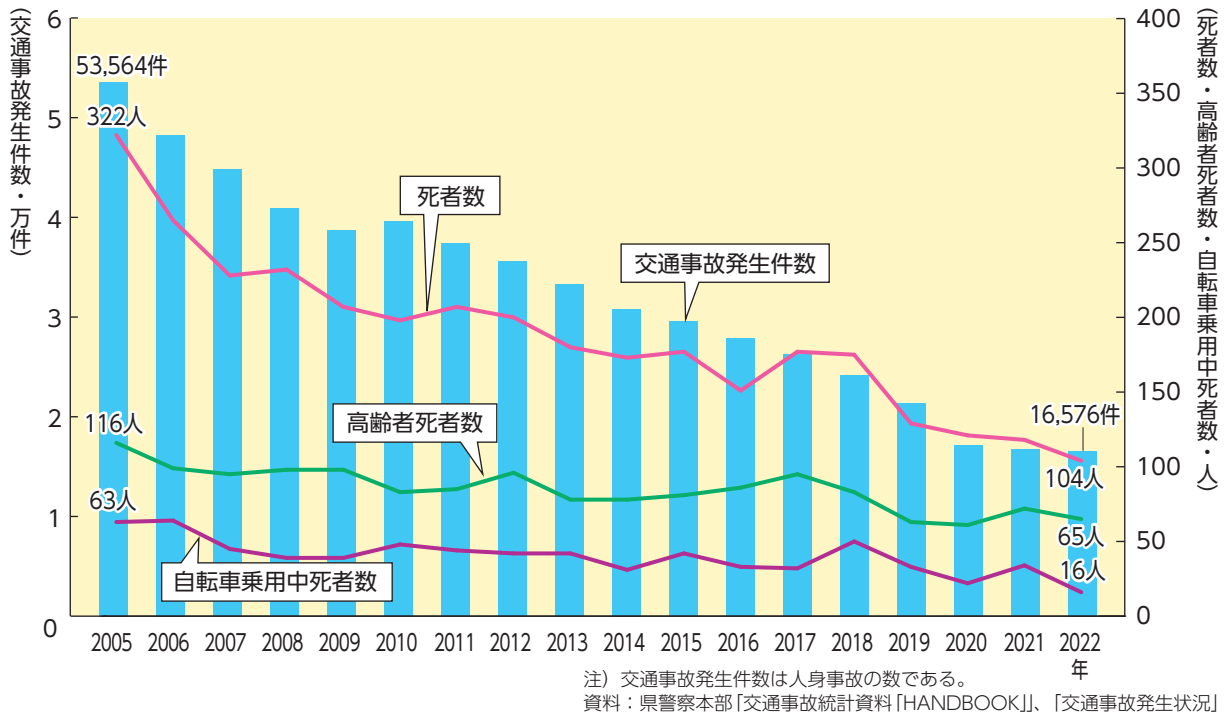


# 16 交通事故・犯罪

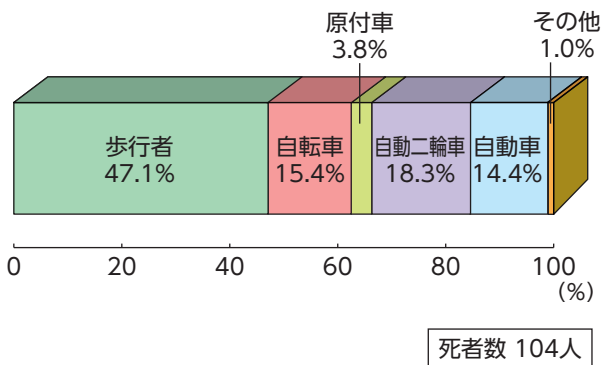
## ① 交通事故の発生件数と死者数の推移



- 2022年中の交通事故の発生件数は、前年より131件少ない16,576件でした。交通事故による死者数は年々減少傾向にあり、2022年は「自転車乗用中死者数」も大幅に減少しました。また、「高齢者死者数」は前年より7人減少して65人となっています。

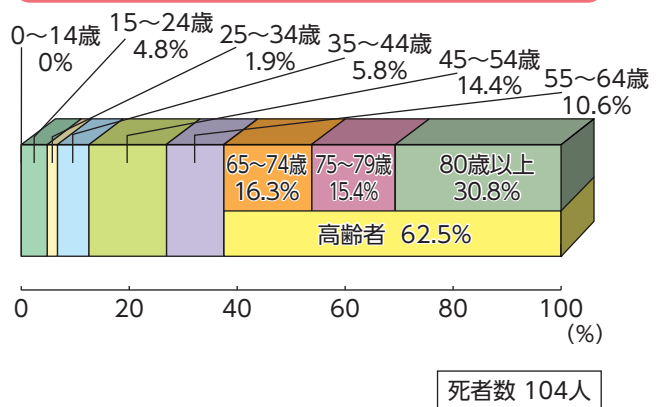
埼玉県の日 交通事故(人身事故)発生件数 45件

## ② 状態別の交通事故死者数の割合 (2022年)



- 交通事故による状態別死者数は、歩行中が49人で最も多く、次いで自動二輪車が19人となっています。

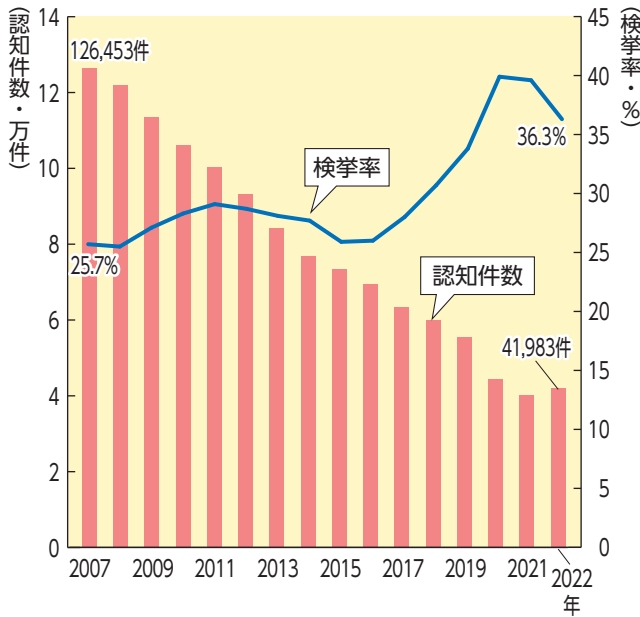
## ③ 年代別の交通事故死者数の割合 (2022年)



- 交通事故による死者数を年齢別に見ると、65歳以上の高齢者が65人と、全体の62.5%を占めています。また、0~14歳の死者数は0人でした。



#### ④ 刑法犯の認知件数と検挙率の推移

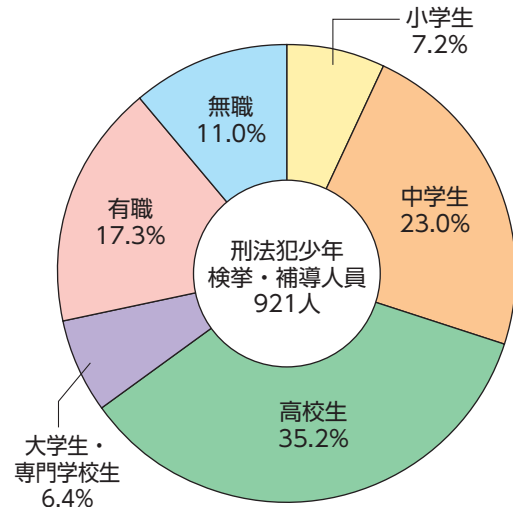


資料：県警察本部「犯罪統計」

- 2022年の刑法犯の認知件数は41,983件で、前年より1,817件(4.5%)増加しました。また、検挙件数は15,253件で、認知件数に占める割合(検挙率)は36.3%となり、前年を3.3ポイント下回っています。

埼玉県の1日 刑法犯認知件数 115件

#### ⑤ 刑法犯で検挙・補導された少年の学職別人員の割合 (2022年) (刑法に触れる行為をして補導された触法少年を含む)



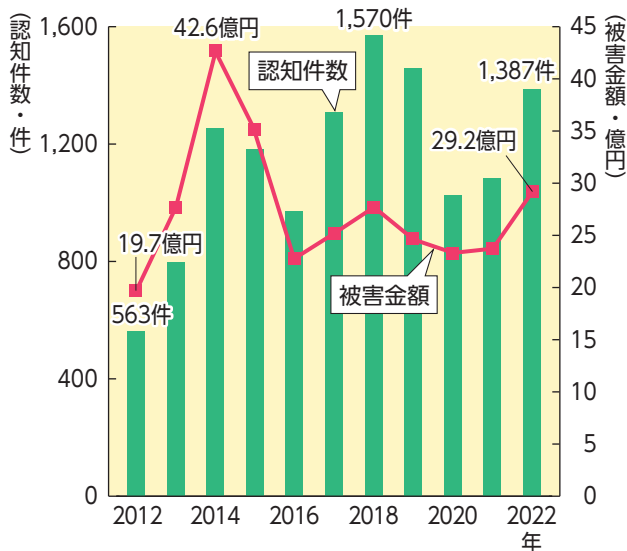
注1 刑法犯少年とは14歳以上20歳未満の者で、刑法等に規定する罪(交通関係を除く。)を犯した(犯罪に触れる行為をした)少年。

注2 触法少年とは犯罪に触れる行為をした14歳未満の少年。

資料：県警察本部「少年非行等の概況」

- 2022年中に検挙・補導された少年の数は921人でした。最も多かったのは高校生で全体の35.2%でした。

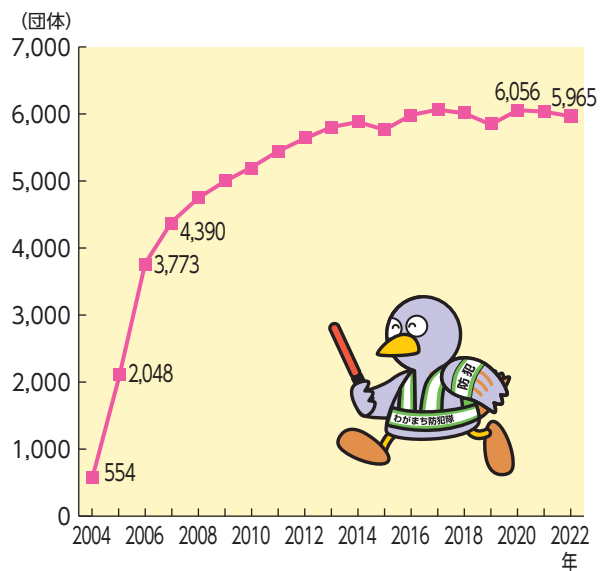
#### ⑥ 特殊詐欺の認知件数・被害金額の推移



資料：県警察本部「特殊詐欺統計資料～認知状況と被害の特徴～」

- 2022年中の特殊詐欺被害は、認知件数1,387件、被害金額は29億1,971万円でした。

#### ⑦ わがまち防犯隊の数の推移 (各年末現在)



注) 5人以上で平均して月1回以上活動している団体の数である。

資料：県防犯・交通安全課「わがまち防犯隊の数の推移」

- 県内の自主防犯活動団体(愛称:わがまち防犯隊)の数は、5,965団体(2022年末現在)で日本一です。わがまち防犯隊では、地域で自主的に防犯パトロールや子供の見守り活動などの防犯活動を行っています。